

バイオビジネス環境学特論Ⅱ (2単位)

担当者氏名 泉田 洋一

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

バイオビジネス環境学特論Ⅱの学習・教育目標は環境経済学の基礎理論を通して環境と農業経済、環境と農業経営の関係を把握し、環境は農業経済や農業経営と別個の存在ではなく、まさに表裏一体の関係にあることを理解し、学ぶことにある。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

物質収支 フロー資源とストック資源 環境政策と環境税 環境保全と市場
 予防原則と最小安全基準 外部費用・公共財 費用便益分析 環境評価法

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	環境と経済学・経営学	物質収支の考え方、外部性と公共財、	第一は、既存の経済学・経営学における環境への接近視点について予習・復習しておくこと。
2	持続可能な発展と農業 (2回～3回)	持続可能な発展の条件、予防原則と最小安全基準、	
3	環境悪化の原因 (4回～5回)	市場の失敗、政府の失敗	
4	意思決定と環境 (6回～7回)	費用便益分析、環境資源の評価法	第二は、環境を経済学と経営学から分析する方法について予習・復習しておくこと。
5	環境政策と農業 (8回～10回)	所有権アプローチ、課徴金、環境税	
6	天然資源と農業 (11回～13回)	フロー資源とストック資源	第三は、環境に関するビジネスのあり方について予習・復習しておくこと。
7	環境と農業ビジネス (14回～15回)	廃棄物処理、環境ビジネスと費用	
			予習・復習：各 1.5h 程度

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

(1) はじめての環境経済学/ジェフリー・ヒル/東洋経済新報社 (2006 年)

(2) 地球白書/レスター・R・ブラウン/ワールドウオッチ研究所・ダイヤモンド社 (1998 年など)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

(1) 環境破壊と社会的費用/KW カップ/岩波書店 (1975 年)

(2) 環境白書/環境庁編/財務省印刷局 (各年)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

小テスト 50%、レポート 50%

◆オフィスアワー

火曜 5 限・研究室

◆その他受講上の注意事項